

4. 施策の展開

(1) 8つの基本目標

基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1-1	健康寿命を延伸する
めざす成果	1-1-1	一人ひとりが健康づくりに取り組み元気で暮らしている

年齢や性別を問わず市民一人ひとりが、健康づくりに取り組むことで、健康で充実した日々を送っています。

成果を計る 主な指標	健康寿命（平均自立期間）と平均寿命の差		
	現状値(2015)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	(男性) 1.63歳 (女性) 3.57歳	差が短くなるよう 取り組みます	差が短くなるよう 取り組みます
	自ら健康づくりに取り組んでいる市民の割合		
	現状値(2016)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	62.9%	68.0%	71.0%
	高齢の方が地域で生き生きと活動していると思う市民の割合		
	現状値(2016)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	57.1%	62.0%	65.0%
	介護予防セミナー受講者数		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	1,112人	1,167人	1,194人
	シルバー人材センター会員数		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
961人	1,053人	1,122人	

主な取組等	
<ul style="list-style-type: none"> ○地域において健康普及活動を行うボランティアなどの人材を育成するとともに、地域が行う健康づくりや食育の取り組みを支援します。 ○健康の維持増進に向けて、気軽にできる体操教室や食生活を考える講座などを実施するほか、地域の行事や会合などに際し、生活習慣病などの予防に関する啓発活動を行います。 ○生活習慣病、フレイル（低栄養等）の予防に向け、保健師・管理栄養士による保健指導を実施します。 ○健康ポイントを活用し、市民の健康づくりのきっかけや習慣化支援となる取り組みを促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会やイベントを実施して歩く健康づくりの普及啓発を行います。 ○介護予防をサポートする市民ボランティアを養成するほか、介護保険施設でのお手伝いなどを行う高齢の方にポイントを付与する取り組みを進め、高齢の方の社会参加や地域における介護予防を推進します。 ○介護予防に向けた各種セミナーなどの開催、周知を行うほか、健康相談を実施します。 ○高齢の方に生きがいと働く機会を提供する（公社）大和市シルバー人材センターを支援します。

計画事業費 (千円)	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	144,000	157,000	144,000
	一般財源	111,000	106,000
特定財源	33,000	51,000	44,000
担 当 部	市民経済部、健康福祉部		

- ・当該施策には、介護保険事業特別会計、国民健康保険事業特別会計の事業が含まれています。
- ・特別会計の事業費については、計画事業費に含んでおりません。
- ・なお、一般会計から特別会計への繰出金は次のとおり見込んでいます。

会 計 名 (千円)	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
介護保険事業特別会計	2,984,000	3,060,000	3,125,000
国民健康保険事業特別会計	2,183,000	2,309,000	1,645,000

- ・特別会計への繰出金は、本施策の事業のほか、他の施策の事業を含んだ全体額を表示しています。
- ・特別会計と総合計画の施策体系との関係については、210 ページをご覧ください。

施策の展開	事務事業名	担当部	担当課
1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする	健康づくり普及啓発事業	健康福祉部	健康づくり推進課
	健康相談・教育事業	健康福祉部	健康づくり推進課
	食育推進事業	健康福祉部	健康づくり推進課
	大和市健康ポイント事業	健康福祉部	健康づくり推進課
	歩く健康づくり事業	健康福祉部	健康づくり推進課
1-1-1-2 高齢の方の生き生きとした毎日を応援する	生きがい対応型デイサービス事業	健康福祉部	健康づくり推進課
	一般介護予防事業（健康づくり関連）（介護）	健康福祉部	健康づくり推進課
	高齢者入浴サービス事業	健康福祉部	人生100年推進課
	高齢者生きがい活動推進事業	健康福祉部	人生100年推進課
	高齢者福祉農園事業	健康福祉部	人生100年推進課
	はり・きゅう・マッサージ治療費助成事業	健康福祉部	人生100年推進課
	敬老祝品等支給事業	健康福祉部	人生100年推進課
	一般介護予防事業（認知症施策関連）（介護）	健康福祉部	人生100年推進課
	福寿手帳（カード）交付事業	健康福祉部	人生100年推進課
	老人福祉センター運営事業	健康福祉部	人生100年推進課
	老人クラブ育成支援事業	健康福祉部	人生100年推進課
シルバー人材センター支援事業	健康福祉部	人生100年推進課	
1-1-1-3 国民健康保険制度などに基づき市民の健康を増進する	出産育児一時金支給事業（国保）	市民経済部	保険年金課
	保健衛生普及事業（国保）	市民経済部	保険年金課
	葬祭費支給事業（国保）	市民経済部	保険年金課
	特定保健指導事業（医療機関）（国保）	健康福祉部	医療健診課
	特定保健指導事業（市保健師等分）（国保）	健康福祉部	健康づくり推進課

※（介護）は介護保険事業特別会計、（国保）は国民健康保険事業特別会計に該当する事業

1-1-1-1 市民の間での健康づくり活動を活発にする

[主要な事務事業]

事務事業名	健康づくり普及啓発事業		健康福祉部 健康づくり推進課
対 象	市民		
目 的	地域で健康づくりのリーダーとして活動する健康普及員を支援し、健康づくりを推進します。		
事業概要	健康普及員連絡協議会において、市域全体や地区ごとの活動の検討を行い、ウォーキングや健康測定会等の健康普及員活動を行います。 関係団体等と連携し、市民まつりやふれあい広場等のイベントに参加し、効果的に普及啓発活動を行います。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・健康普及員活動の実施 ・健康普及員育成講座等の実施	同左	同左
事業費 (千円)	1,800	1,900	1,800
一般財源	1,800	1,900	1,800
特定財源	0	0	0

事務事業名	健康相談・教育事業		健康福祉部 健康づくり推進課
対 象	市民		
目 的	健康増進法等に基づき、健康診査後の事後指導及び生活習慣病予防のための保健師や管理栄養士等による相談・教育・保健指導を実施します。		
事業概要	生活習慣病予防・重症化予防、フレイル予防を目的に、保健指導、相談、健康教育を行います。 24時間健康相談を委託で実施します。 健康度見える化コーナー等で、健康相談・健康教育を実施します。 高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・出張けんこう教室、訪問指導等の実施 ・24時間健康相談の実施 ・通いの場における健康・栄養相談	同左	同左
事業費 (千円)	32,300	40,700	29,800
一般財源	19,700	12,100	8,200
特定財源	12,600	28,600	21,600

事務事業名	食育推進事業	健康福祉部 健康づくり推進課	
対 象	市民		
目 的	食育に関する施策を実施することで、市民の心身の健康増進や生活の質の向上を図ります。		
事業概要	<p>関係団体等と連携し食育イベント等（フェアや講座など）を開催し、食育を推進します。</p> <p>食に関する正しい知識の普及啓発を行います。</p> <p>食生活改善推進員（ヘルスメイト）の養成講座を開催します。また、食生活改善推進協議会の地域での活動を支援します</p> <p>市内飲食店事業者等と連携し、健康的な食環境づくりの支援を行います</p> <p>若い世代の健康課題改善に向けた取組を行います。</p>		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員養成講座の開催 ・食生活改善委託事業 ・食生活改善推進協議会の地区活動支援 ・食育推進普及啓発事業 ・食育イベントの開催 ・「やまと食の応援団」事業の実施 ・若い世代に向けた食の知識に関する普及啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善推進員養成講座の開催 ・食生活改善委託事業 ・食生活改善推進協議会の地区活動支援 ・食育推進普及啓発事業 ・食育イベントの開催 ・「やまと食の応援団」事業の実施 ・若い世代に向けた食の知識に関する普及啓発活動 ・第3次大和市食育推進計画の策定 	同左
事業費（千円）	1,300	3,900	1,400
一般財源	1,300	3,900	1,400
特定財源	0	0	0

事務事業名	大和市健康ポイント事業	健康福祉部 健康づくり推進課	
対 象	20歳以上の市民		
目 的	自主的な健康づくりに取り組むためのきっかけをつくとともに、習慣化されるよう支援します。		
事業概要	特定検診や各種がん検診、健康に関する教室、イベントなど、市が指定する健康づくりに係るプログラムへの参加に対してポイントを付与し、一定数のポイントに到達した応募者の中から抽選で景品を交付します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・健康ポイント制度の実施	同左	同左
事業費（千円）	6,000	5,600	5,700
一般財源	5,300	4,700	4,800
特定財源	700	900	900

事務事業名	歩く健康づくり事業		健康福祉部 健康づくり推進課
対 象	市民		
目 的	歩くことによる健康づくりにより、市民の健康増進及び介護予防等の推進を図ります。		
事業概要	市民に歩くことを意識付けし、歩くことの効用について、普及啓発を図ります。 歩くことによる健康づくりの普及定着を図るため、イベントを開催します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・イベント等の開催 ・歩行姿勢測定システムを活用した事業の実施	同左	同左
事業費 (千円)	5,400	5,500	5,900
一般財源	5,400	4,600	5,000
特定財源	0	900	900

1-1-1-2 高齢の方の生き生きとした毎日に応援する

[主要な事務事業]

事務事業名	一般介護予防事業 (健康づくり関連) (介護特会)		健康福祉部 健康づくり推進課
対 象	65歳以上の市民		
目 的	介護予防の普及啓発、在宅の高齢の方への見守り体制の整備等により、高齢の方が住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域を構築します。		
事業概要	介護予防普及啓発のためのセミナーを開催します。 介護予防サポーター講座を市内の各地域包括支援センターで実施し、介護予防の推進を図ります。 ふれあいネットワーク事業により、介護予防活動を行うボランティアの育成や活動支援を行います。 介護施設などでお手伝い等をする方に対して介護予防ポイント事業を行います。 健康遊具が設置された各公園で健康遊具体験会を実施します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・介護予防普及啓発セミナーの実施 ・介護予防サポーター等の養成 ・ふれあいネットワーク事業の実施 ・介護予防ポイント事業の実施 ・地域リハビリテーション事業の実施 ・介護予防把握事業の実施	同左	・介護予防普及啓発セミナーの実施 ・介護予防サポーター等の養成 ・ふれあいネットワーク事業の実施 ・介護予防ポイント事業の実施 ・地域リハビリテーション事業の実施 ・介護予防アンケート事業の実施
事業費 (千円)	70,600	42,200	84,200

事務事業名	一般介護予防事業（認知症施策関連）（介護特会） 健康福祉部 人生100年推進課		
対 象	65歳以上の市民		
目 的	認知症予防の普及啓発等により、高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域を構築します。		
事業概要	認知症についての正しい知識や理解に関する講演会を開催します。 認知機能検査を実施し、認知症の早期発見、支援につなげます。 体を動かしながら、脳を同時に使うプログラム「コグニサイズ」や「コグニバイク」等を活用し、認知症予防の取り組みを進めます。		
主要な取り組み	2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度
	・認知症予防普及啓発事業の実施	同左	同左
事業費（千円）	6,100	6,300	7,000

事務事業名	シルバー人材センター支援事業 健康福祉部 人生100年推進課		
対 象	交付先：（公社）大和市シルバー人材センター		
目 的	高齢者の経験と能力を生かし、生きがいとして就業の機会を提供している（公社）大和市シルバー人材センターの運営を支援します。		
事業概要	補助金を交付します。 事業運転資金の貸付け等の支援を実施します。		
主要な取り組み	2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度
	・（公社）大和市シルバー人材センターへの補助金の交付及び事業資金の貸付	同左	同左
事業費（千円）	44,200	46,400	46,400
一般財源	29,200	31,400	31,400
特定財源	15,000	15,000	15,000

1-1-1-3 国民健康保険制度などに基づき市民の健康を増進する

[主要な事務事業]

事務事業名	特定保健指導事業（医療機関）（国保特会） 健康福祉部 医療健診課		
対 象	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者で、特定健康診査の結果から、メタボリックシンドロームの該当及び予備群と判定された市民		
目 的	メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減らします。		
事業概要	市内医療機関に委託し、医師・保健師・管理栄養士が健診結果に基づいた保健指導を実施します。		
主要な取り組み	2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度
	・生活改善保健指導の実施	同左	同左
事業費（千円）	600	600	600

事務事業名	特定保健指導事業(市保健師等分)(国保特会) 健康福祉部 健康づくり推進課		
対 象	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者で、特定健康診査等の結果から、メタボリックシンドロームの該当及び予備群と判定された者		
目 的	メタボリックシンドロームの該当者および予備群の人を減らします。		
事業概要	保健福祉センター、生涯学習センター等で、保健師・管理栄養士・健康運動指導士等による教室を実施します。 教室に参加できない対象者の一部については、保健師・管理栄養士による個別訪問や窓口相談を実施します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・集団教室及び個別相談の実施	同左	同左
事業費(千円)	1,100	1,000	1,000

基本目標

1

いつまでも元気でいられるまち

個別目標

1-1

健康寿命を延伸する

めざす成果

1-1-2

心身の健康を維持・増進するための体制が整っている

健康状態を把握できる環境の整備や、感染症などの予防に取り組むとともに、効果的な自殺対策が進み、心身の健康が維持されています。

成果を計る 主な指標	肺がん検診受診率		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	20.2%	26.2%	30.7%
	特定健康診査の受診率		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	34.1%	39.0%	41.0%
	肺炎等による死亡率(人口10万人あたりの死亡者数)		
	現状値(2016)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	103.4人	88.4人	79.4人
	自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	14.5人	12.8人	11.5人

主な取組等

○特定健康診査の受診率向上や定期受診を目的として、様々な受診勧奨に取り組めます。
○各種がん検診を実施するほか、がんやがん検診の正しい知識が市民により一層広まるよう、インターネットによる情報提供サービスを実施し、普及啓発を進めます。

○集団がん検診において保育サービスを提供するなど、子育て世代の受診を促進します。
○感染症に関する正しい情報について、広く周知に努めます。
○自殺の兆候を早期に捉えられるよう、ゲートキーパーを育成するほか、関係機関との連携及び地域におけるネットワークの強化を進めます。

計画事業費 (千円)	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
一般財源	1,040,000	1,025,000	1,053,000
特定財源	1,347,000	999,000	179,000
担当部	市民経済部、環境施設農政部、健康福祉部		

- ・当該施策には、国民健康保険事業特別会計の事業が含まれています。
- ・特別会計の事業費については、計画事業費に含んでおりません。
- ・なお、一般会計から特別会計への繰出金は、11ページをご参照ください。
- ・特別会計と総合計画の施策体系との関係については、210ページをご覧ください。

施策の展開	事務事業名	担当部	担当課
1-1-2-1 自らの健康状態を把握できる環境を整える	人間ドック助成事業（国保）	市民経済部	保険年金課
	後期高齢者人間ドック助成事業	市民経済部	保険年金課
	特定健康診査事業（国保）	健康福祉部	医療健診課
	後期高齢者健康診査事業	健康福祉部	医療健診課
	女性の健康診査事業	健康福祉部	医療健診課
	健康診査事業	健康福祉部	医療健診課
	成人歯科健康診査事業	健康福祉部	医療健診課
	障害者歯科健診事業	健康福祉部	障がい福祉課
1-1-2-2 衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する	専用水道等衛生対策事業	環境施設農政部	生活環境保全課
	公衆便所等管理運営事業	環境施設農政部	施設課
	食品衛生管理支援事業	健康福祉部	医療健診課
	狂犬病予防事業	健康福祉部	医療健診課
	感染症予防事業	健康福祉部	医療健診課
	公衆衛生支援事業	健康福祉部	医療健診課
1-1-2-3 心の健康の保持を図る	こもりびと支援事業	健康福祉部	健康福祉総務課
	自殺対策事業	健康福祉部	健康福祉総務課

※（国保）は国民健康保険事業特別会計に該当する事業

1-1-2-1 自らの健康状態を把握できる環境を整える

[主要な事務事業]

事務事業名	特定健康診査事業（国保特会）		
対 象	健康福祉部 医療健診課		
目 的	40歳から74歳までの国民健康保険加入者である市民		
事業概要	メタボリックシンドロームの該当者および予備群を減らします。		
主要な取り組み	市内医療機関に委託し、メタボリックシンドロームを判定する健康診査を実施します。		
	2022（R4）年度	2023（R5）年度	2024（R6）年度
事業費（千円）	・特定健康診査の実施	同左	同左
	242,000	241,000	233,000

事務事業名	女性の健康診査事業	健康福祉部 医療健診課		
対 象	18歳から39歳の健康診査の機会のない女性			
目 的	女性がかかる疾病の早期発見と健康づくりのため、健康診査、保健・栄養指導を行います。			
事業概要	健診を通じて、生活習慣病をはじめとする疾病のリスクを早期発見し、生活習慣を見直す機会となるよう、健康診査、健診当日の栄養相談を実施します。 健診受診の結果、特に注意が必要な対象者について、電話による健康相談および健康に関する情報提供をします。			
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	
	・健康診査の実施 ・保健・栄養指導の実施	同左	同左	
事業費 (千円)	4,200	4,200	4,200	
一般財源	4,200	4,200	4,200	
特定財源	0	0	0	

事務事業名	健康診査事業	健康福祉部 医療健診課		
対 象	各がん検診等の対象年齢に該当する市民			
目 的	各種がん検診や特定健康診査を実施し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療につながる機会の確保に努めます。			
事業概要	健康増進法に基づく各種がん検診（胃、肺、大腸、乳房、子宮）、肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診及び骨粗しょう症検診を実施するとともに、高齢者の医療の確保に関する法律の対象とならない方に対して、基本健康診査を実施します。			
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	
	・がん検診（胃、肺、大腸、乳房、子宮）の実施 ・特定健康診査の実施 ・骨粗しょう症検診の実施 ・無料券によるがん検診（子宮、乳房）の実施 ・精密検査の受診勧奨と結果の把握	同左	同左	
事業費 (千円)	888,000	889,000	916,000	
一般財源	871,000	869,000	896,000	
特定財源	17,000	20,000	20,000	

1-1-2-2 衛生的で感染症の少ない生活環境を確保する

[主要な事務事業]

事務事業名	感染症予防事業	健康福祉部 医療健診課		
対 象	市民			
目 的	感染症の発生や蔓延を防止し、公衆衛生の向上及び増進を図ります。			
事業概要	感染症に関する正しい知識の普及や情報提供に努めるとともに、16歳以上で健康診断を受ける機会のない方を対象とした結核検診を実施します。 新型コロナウイルス等の感染症対策について、国や県、医療機関等の関係機関と連携して実施します。			
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	
	・結核検査(胸部X線撮影)の実施 ・新型コロナウイルス等の感染症対策のため、マスク、消毒液、防護服等の備蓄	同左	・結核検査(胸部X線撮影)の実施 ・新型コロナウイルス等の感染症対策のため、消毒液、防護服等の備蓄	
事業費(千円)	2,900	2,900	700	
一般財源	700	700	700	
特定財源	2,200	2,200	0	

1-1-2-3 心の健康の保持を図る

[主要な事務事業]

事務事業名	自殺対策事業	健康福祉部 健康福祉総務課		
対 象	市民全般			
目 的	神奈川県との協力関係や庁内関係課による横断的な連携を図りながら、啓発活動などに取り組み、自殺で亡くなる方が減少することを目指します。			
事業概要	大和市自殺対策庁内連絡会の設置により、自殺対策に取り組みます。 市民に対して自殺予防に関する人材育成・啓発・周知等を図ります。			
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	
	・ゲートキーパーの養成、支援チームの研修等による人材育成の実施 ・講演会、各種キャンペーン等による普及啓発の実施 ・自殺総合対策計画の策定	同左	同左	
事業費(千円)	3,200	1,200	1,200	
一般財源	1,600	600	600	
特定財源	1,600	600	600	

基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1-2	いつでも必要な医療が受けられる
めざす成果	1-2-1	いざというときに診療を受けられる

夜間や休日でも医療を受けられる体制が整い、急な病気やけがの際に診療を受けることができます。

成果を計る 主な指標	休日夜間急患診療所（一次救急）の年間患者取扱件数		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	12,403件	13,000件	13,000件
	二次救急での中度・重度患者の割合		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	14.8%	17.2%	19.0%
	24時間健康相談受付件数		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	18,068件	18,500件	18,500件

主な取組等	
<ul style="list-style-type: none"> ○市民の医療ニーズの変化に対応していけるよう、医師会、歯科医師会、薬剤師会等との連携を深めるとともに、休日夜間急患診療所及び休日歯科診療所での診療を行います。 ○二次救急の適正受診を促すため、広報やホームページなどにより啓発を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の病院群輪番制による二次救急の安定的な運営に努めます。また、小児科については、市立病院が24時間365日の受入れを行います。 ○救急医療活動に必要な情報をあらかじめ記載し、家庭の冷蔵庫に保管する救急医療情報キットの配布を進めるとともに、有効な使用方法等についての周知啓発を行います。

計画事業費 (千円)	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	246,000	252,000	256,000
	一般財源	166,000	185,000
特定財源	80,000	67,000	67,000
担 当 部	健康福祉部		

施策の展開	事務事業名	担当部	担当課
1-2-1-1 必要な医療サービスを常に提供できる体制を整える	保健医療団体活動支援事業	健康福祉部	医療健診課
	休日夜間急患診療所運営事業	健康福祉部	医療健診課
	夜間診療所運営支援事業	健康福祉部	医療健診課
	休日歯科診療所運営支援事業	健康福祉部	医療健診課
	外国籍市民救急医療対策支援事業	健康福祉部	医療健診課

施策の展開	事務事業名	担当部	担当課
1-2-1-1 必要な医療サービスを常に提供できる体制を整える	地域医療センター管理運営事業	健康福祉部	医療健診課
	産科医等確保支援事業	健康福祉部	医療健診課
1-2-1-2 市民が適切な医療を受けられるよう支援する	救急医療情報活用事業	健康福祉部	医療健診課
	献血推進事業	健康福祉部	医療健診課
	がん患者等支援事業	健康福祉部	医療健診課

1-2-1-1 必要な医療サービスを常に提供できる体制を整える

[主要な事務事業]

事務事業名	休日夜間急患診療所運営事業			健康福祉部	医療健診課
対 象	休日及び夜間に治療を必要とする患者				
目 的	休日及び夜間の内科・小児科の軽症患者のために、大和市地域医療センター休日夜間急患診療所で適切な一次救急医療を提供します。				
事業概要	休日夜間急患診療所の運営を大和市医師会に委託します。				
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度		
	・休日夜間急患診療所の運営 ・広域耳鼻咽喉科救急医療事業負担金	同左	同左		
事業費 (千円)	144,000	146,000	147,000		
一般財源	67,000	82,000	83,000		
特定財源	77,000	64,000	64,000		

事務事業名	夜間診療所運営支援事業			健康福祉部	医療健診課
対 象	交付先：救急告示病院及び病院群輪番制参加病院				
目 的	休日及び夜間における内科等の入院治療等を必要とする中・重症患者のために、病院群輪番制などにより適切な二次救急医療を提供します。				
事業概要	救急告示病院又は病院群輪番制参加病院の内科等の二次救急医療の提供に係る経費に対して補助金を交付します。				
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度		
	・二次救急診療の提供に係る輪番病院への運営費の一部助成	同左	同左		
事業費 (千円)	57,700	59,200	62,700		
一般財源	57,700	59,200	62,700		
特定財源	0	0	0		

事務事業名	休日歯科診療所運営支援事業	健康福祉部 医療健診課	
対 象	交付先：大和綾瀬歯科医師会		
目 的	休日の歯科救急患者に適切な医療を提供します。		
事業概要	休日歯科診療所を運営する大和綾瀬歯科医師会に運営費の一部を助成します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・休日歯科診療所の運営費の一部助成	・休日歯科診療所の運営費等の一部助成	同左
事業費 (千円)	13,100	13,300	12,400
一般財源	13,100	13,300	12,400
特定財源	0	0	0

1-2-1-2 市民が適切な医療を受けられるよう支援する

[主要な事務事業]

事務事業名	救急医療情報活用事業	健康福祉部 医療健診課	
対 象	市内在住者		
目 的	緊急時に適切な医療や必要とされる支援が円滑に提供されるよう情報提供の仕組みを確保します。		
事業概要	対象者に救急医療情報キットを無償で配布します。		
主要な取り組み	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	・救急医療情報キットの作成及び配布	同左	同左
事業費 (千円)	500	400	400
一般財源	500	400	400
特定財源	0	0	0

基本目標	1	いつまでも元気でいられるまち
個別目標	1-2	いつでも必要な医療が受けられる
めざす成果	1-2-2	市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている

高度で専門的な医療の提供や他の医療機関との連携、災害への備えなどが十分に図られており、地域医療の中心的な役割を果たしています。

成果を計る 主な指標	地域の診療所等から市立病院に紹介された患者の割合（紹介率）		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	60.9%	73.2%	80.3%
	市立病院から地域の診療所等に紹介した患者の割合（逆紹介率）		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	29.6%	54.5%	74.0%
	患者満足度調査における満足度の割合		
	現状値(2017)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)
	88.7%	91.0%	93.0%
	がん患者受入数（延べ）		
現状値(2016)	中間目標値(2021)	最終目標値(2024)	
42,966人	48,000人	51,000人	

主な取組等	
<ul style="list-style-type: none"> ○医師等人材確保に努め、チーム医療を推進するとともに、最新の医療機器等の導入を図り、診療機能を強化します。 ○地域がん診療連携拠点病院として、県央二次保健医療圏の中で高い水準の放射線治療を行えるよう機能の拡充を図ります。 ○地域の基幹病院として、地域医療を支えるため、他の医療機関との連携を促進します。 ○災害拠点病院としての機能の維持向上を図るため、県とも協調し、実地訓練の実施や各種訓練に参加します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害時等には、被災地等からの要請を受け、応急救護活動のための災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣します。 ○地域医療を支える公立病院として、必要な医療サービスの提供に努めるとともに、収入確保や支出削減にも取り組みながら、安定した病院経営を行っていきます。 ○市立病院で提供する医療サービスや、経営改善に関する取り組みを広く周知します。

計画事業費 (千円)	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度
	1,817,000	1,755,000	1,502,000
担当部	市立病院		

※計画事業費については、病院事業会計への負担金等を掲載しています。

※特別会計と総合計画の施策体系との関係については、210ページをご覧ください。

施策の展開	事務事業名	担当部
1-2-2-1 二次医療機関としての市立病院の診療体制を確立する	市立病院運営事業	市立病院